

硝酸カドミウム

別名:

$\text{Cd}(\text{NO}_3)_2 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$

劇物:(カドミウム化合物)

(性状)無水物のほか、数種類の水和物が知られている。4水和物が一般に流通している。4水和物の性状は次のとおり。無色結晶。潮解性。融点 59.4 。沸点 132 。360で無水物になる。水に極めて溶けやすい(20で水100mlに135.3g溶ける)。

措 置

漏 え い 時

飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

飛散したものは空容器にできるだけ回収し、そのあとを消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、多量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。

出 火 時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)

(消火剤)

暴 露・接 触 時

急性中毒と刺激性

(吸入した場合)

カドミウム中毒を起こすことがある。

(皮膚に触れた場合)

刺激作用がある。

(眼に入った場合)

粘膜を激しく刺激する。

医師の処置を受けるまでの救急方法

(吸入した場合)

鼻をかみ、うがいをさせる。

(皮膚に触れた場合)

直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。

注 意 事 項

強熱すると酸化カドミウム(II)煙霧及びガスを発生する。

煙霧及びガスは有害なので注意する。

可燃物と混合しないように注意する。

保 護 具

保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、防じんマスク

(火災時:空気呼吸器)